



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

1922年7月15日、侵略戦争に反対し平和を願う日本共産党創立。 平和・いのちを守る一員であることを誇りに思います

こんにちは、遠藤れい子です。「私の誇り」

7月15日、日本共産党は創立102年を迎え、田村智子委員長が記念講演を行いました。私は侵略戦争に反対し平和を願う日本共産党の一員であることを誇りに思います。記念講演の内容をご紹介します。

いま日本を変える 歴史的チャンス
―暮らし・平和・人権、そして未来社会を語る



長田村智子 幹部会委員長

*裏金事件で、自民党の本性があらわになった

1. 暮らし・経済―アベノミクスがもたらした“どん詰まり”。「暮らし応援」の「日本共産党の提唱する「経済再生プラン」で政策の転換を

厚生労働省が発表した「国民生活基礎調査」では「生活が苦しい」が59.6%

統計が始まった1986年以降、最悪となりました。

一方、大企業と富裕層に巨額の利益が流れました。大企業の純利益はアベノミクスからの10年間で3倍（12年↓22年）、内部留保は178兆円増えて511兆円に。日本の大資産家、上位40人の資産、12年間（12年↓24年）で、7.7兆円から29.5兆円へと3.8倍にも膨れ上がりました。

2. 平和―強権政治で「平和国家」の在り方を根底から壊す自公政権の暴走。憲法9条に基づく平和外交を進める日本へと転換しよう。

今、南西諸島をはじめとしたミサイル配備、全国の自衛隊基地の「強靱化」、米軍と自衛隊のかつてない規模での軍事演習など、「戦争の準備」としか言いようがない事態が進んでいます。この始まりは、安倍政権による2014年の集団的自衛権行使容認の閣議決定です。日本は攻撃を受けていないのに、海外でのアメリカ

の戦争に参加し、米軍を支援するため自衛隊が武力を行使できる―憲法9条に反することは誰の目にも明らかです。安倍政権は、閣議決定で憲法9条の解釈を百八十度変えてしまった。そ

2004年の7・13水害から20年が経過した7月13日、'04（ラブフォー）中之島記念公園で磯田市長も出席して追悼のセレモニーが行われました。

刈谷田川が決壊し3名の方が亡くなり、甚大な被害が発生しました。決壊した午後0時52分に合わせ、参加者は黙禱し花を手向けました。

濁流にのみ込まれた中之島保育所からヘリコプターで救助された2人（当時の園児）が出席し、20年前の救助の記憶を語り、救助に携わった人たちに感謝の言葉を述べました。

遠藤れい子の笑顔でファイト

語り、救助に携わった人たちに感謝の言葉を述べました。

刈谷田川決壊から20年、改めて防災を考える！

※日本共産党ホームページから視聴できます。https://youtu.be/7zw10Jxcly

当日は、犠牲者への追悼と水害の教訓を伝える様々な取り組みが行われました。

キャンドルナイトを準備した中之島中学校の生徒さんの呼びかけ。

「当日灯す713個のキャンドルは、亡くなった方への追悼や災害が起これないでほしいという願いを込めて、生徒みんなで作ります。水害を経験した人もしていない人も、水害の記憶や復興への歩みを振り返り、未来につないでいく思いを一つにしませんか。見に来てくださーい。」

